



かわじま

# 議会だより

No.137

埼玉県川島町議会  
令和4年4月25日



春から高校生です（鳥羽井沼の桜）

3月定例会

2 ~ 5

3月定例会

委員会の動き

6 ~ 7

3月定例会

各議員の賛否

8

一般質問

町の考えを問う

9 ~ 12

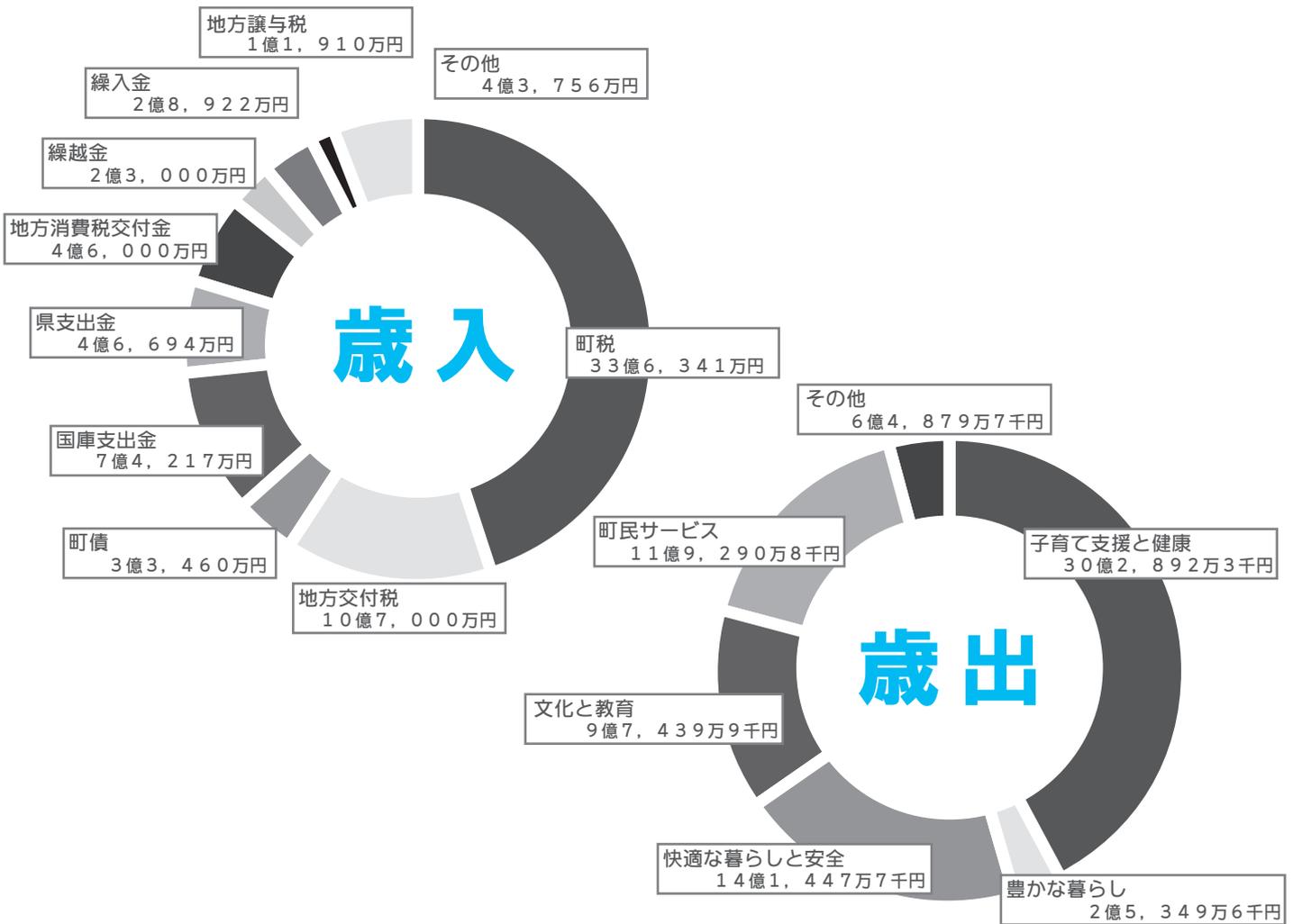
特別委員会中間報告

13

令和4年3月定例会が、3月2日から3月16日までの15日間で行われました。町長提出議案19件が付託され、審議の結果、全議案を可決・承認しました。議員提出議案の「ロシアによるウクライナへの侵攻に対する抗議決議について」は、全会一致で可決しました。

令和4年度  
一般会計予算 **75億1,300万円**

対前年度比+8.3% (5億7,800万円増) ↗



項目	予算額	主な予算科目
●子育て支援と健康のために	30億2,892万3千円	民生費 22億6,213万4千円 衛生費 7億6,657万1千円 労働費 21万8千円
●豊かな暮らしのために	2億5,349万6千円	農林水産業費 2億2,948万5千円 商工費 2,401万1千円
●快適な暮らしと安全のために	14億1,447万7千円	土木費 7億8,138万7千円 消防費 6億3,308万8千円
●文化と教育のために	9億7,439万9千円	教育費 9億7,439万9千円
●町民サービスのために	11億9,290万8千円	議会費 9,568万9千円 総務費 10億9,721万9千円
●その他	6億4,879万7千円	公債費 6億2,879万3千円 予備費 2,000万円

## 令和4年度予算はどのように使われる？

## 集中戦略の事業

## 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルスワクチン接種事業 **6,074万2千円**

新型コロナウイルスワクチン接種の追加接種（3回目接種）を迅速かつ適切に実施するための事業です。

学童保育トイレ改修事業 **498万3千円**

学童保育かっぱくらぶが使っているトイレを感染症対策に配慮したトイレに改修するための事業です。

小・中学校特別教室エアコン設置事業 **850万円**

新型コロナウイルス感染症対策として、小・中学校の特別教室にエアコンを設置する事業です。

## デジタル化の推進、新たな行政サービスの導入

書かない・待たない窓口推進事業 **423万7千円**

マイナンバーカード等を活用して住民票の写しや課税証明書等の交付申請、転入・転出時に申請書を書かずに手続きを行うシステムを導入し、町民の窓口手続きの簡略化を図るための事業です。

マイナポイント手続き支援事業 **486万円**

マイナポイントの予約、申込手続きを支援するための事業です。

公共施設デジタル予約システム導入事業 **61万3千円**

公共施設の空き状況の確認や仮予約ができるシステムを導入し、利用者の利便性向上を図るための事業です。令和4年度は、コミュニティセンター、フラットピア、体育館、武道館、グラウンド、テニスコート等で試験的に導入します。

## 町制施行50周年事業の推進

ご当地ナンバープレート製作事業 **77万5千円**

町内外へのPRや町民の地域への愛着を図るため、ご当地ナンバープレートを製作する事業です。

給食トレイ製作事業 **238万4千円**

町制施行50周年記念ロゴ入りの給食トレイを製作する事業です。

## 未来に続く安全・安心な暮らしをまもるための事業

高台避難場所整備事業 **8,580万円**

町外へ避難できなかった方が、緊急の場合、一時的に避難する場所として高台避難場所を整備する事業で、設計及び測量調査等を行います。

新ごみ処理施設整備推進準備事業 **1,310万7千円**

新ごみ処理施設整備に向けて、建設用地の選定に向けた住民説明会の開催や建設候補地の地質調査を行う事業です。

空き家診断事業 **100万円**

空き家の不動産調査を行い、売却価格や修繕価格、解体費等の見込額を示した空き家レポートを所有者に提示することにより、空き家問題の解消につなげるための事業です。

認知症検診事業 **45万1千円**

認知症の早期発見と適切な治療につなげるため、70歳の方、75歳の方を対象に、比企管内の医療機関において、自己負担なしで認知症簡易スクリーニング検査を受けられる事業です。

かんがい排水施設維持管理費補助事業 **1,000万円**

農地（水田）の所有者の負担を軽減し、今後長期にわたり町の美田を保つため、土地改良区賦課金の一部を助成する事業です。

## 未来に向けて人と人をつなぐための事業

地域活動センター(仮称)  
開設準備事業

22万6千円

地域活動センター(仮称)の開設に向けて、検討委員会を設置し、地域活動センター(仮称)の方向性等を検討していく事業です。

かわじま郷土資料館(仮称)  
開設準備事業

178万1千円

文化財を保護・活用し、歴史文化を学ぶことができる「かわじま郷土資料館(仮称)」の開設に向けた準備を進める事業です。

## 未来へ輝く稼ぐ地域をつくるための事業

## 地方創生推進事業

2,373万3千円

町の資源を活かした集客力向上事業として、地方創生推進交付金を活用し、稼ぐ力の向上に向けて、KJブランド戦略の見直しや各種調査等を行うとともに、地域商社への支援を行うための事業です。また、県補助金を活用し、地域おこし協力隊を受け入れ、地域商社へ職員派遣を行います。

輝け！農業イノベーション  
応援事業

500万円

農業分野へのロボット技術やICT等の先端技術を活用した機器導入、農産物の販路拡大等を目指す新規就農者・認定農業者を支援するための事業です。



## 未来へはばたく人財をそだてるための事業

子育て支援医療費  
支給事業

5,604万5千円

子育て世帯の経済的な負担軽減のため、18歳までの入院と通院に係る医療費を助成する事業です。令和4年度から、通院にかかる医療費についても18歳までに拡充します。

0・1・2歳児子育て  
支援用品支給事業

225万円

町内に住所を有する0～2歳児の保護者が、カタログの中から選んだ紙オムツや離乳食などの子育て支援用品をお届けする事業です。

生徒自転車通学用  
ヘルメット支給事業

73万1千円

自転車通学用ヘルメットを町で購入し、新中学校1年生に支給する事業です。



## ショートステイ事業

41万2千円

保護者の疾病等で一時的に養育が困難となった場合に、3歳から小学校6年生までの児童を対象にした宿泊のできる一時預かり事業です。

おたふくかぜワクチン  
助成事業

134万7千円

おたふくかぜの拡大防止のため、1歳児及び就学前児童を対象に、おたふくかぜワクチン(任意接種)にかかる費用を全額助成する事業です。

専決議案

●令和3年度川島町一般会計補正予算（第8号）

住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金、子育て世帯等臨時特別給付金（追加給付金）を支給するための費用が専決処分され、承認しました。

議員提出議案

●ロシアによるウクライナへの侵攻に対する抗議決議

議員提案による「ロシアによるウクライナへの侵攻に対する抗議決議」を全会一致で可決し、抗議文を3月18日に在日ロシア連邦大使館へ送りました。

ロシアによるウクライナへの侵攻に対する抗議決議

我が国を含む国際社会が強く自制を求める中、ロシアは本年2月24日、ウクライナに侵攻した。

ロシア軍によるウクライナへの侵攻は、力による一方的な現状変更を認めないと国際秩序の根幹を揺るがすとともに、ウクライナの主権と領土の一体性を侵害する明白な国際法・国連憲章違反であり、断じて容認することはできない。

よって、本町議会は、今回のロシアによるウクライナへの侵攻に対し強く抗議するとともに、軍の即時撤収、国際法の順守を強く求める。

以上、決議する。

令和4年3月16日

埼玉県川島町議会

ウクライナ人道危機救援金の送金について

川島町議会は、14人の全議員賛同のもと、ウクライナでの人道危機対応及びウクライナからの避難民を受け入れる周辺国等における救援活動を支援するため、令和4年3月25日に、ウクライナ人道危機救援金として10万円を日本赤十字社に送りました。

# 総務経済建設常任委員会

## 雨水幹線の水路工事

**問** 飯島雨水幹線の工事場所が西中学校の通学路であるため、工期と工事時間の調整が必要と考えるが。

**答** 工事の請負業者と協議をしたいと思いますが、工事場所は通行止めになりますので、バリケードなどで囲い、通学路を確保できるか検討します。

## 地方交付税補正

**問** 地方交付税の増額補正は、一時的なものなのか。

**答** 今年度、国の税収が当初より多かったため、その分で各自治体の割合が増えました。来年度の方向性としては、現状よりも少し増えると伺っています。

## 廃校施設の管理

**問** 旧小見野小学校校舎の貸出面積を減少し、条例を2か年延期する理由は。

**答** 旧小見野小学校に文化財資料を置くことから、面積が減少するものです。また、コロナ禍で十分な検証ができなかったことから、条例期間を延期するものです。

## 条例改正で処遇改善

### 委員長コメント

3月定例会においては、令和4年度当初予算を中心に、補正予算、条例改正の審議を行いました。条例においては、水防団員の処遇改善を行いました。災害時などは団活動を通じて、町民を守っていただいております。皆さまも身近な水防団（消防団）活動にご参加いただければ幸いです。



町を守る水防団員  
(令和3年5月水防訓練の様子)

## ポストラッピング

**問** 郵便ポストラッピング事業の内容と実施時期は。

**答** 町制施行50周年の記念事業として、庁舎南側にある郵便ポストのラッピングを行う予定であり、実施時期は検討中です。

## 令和4年度予算

**問** 令和4年度の法人町民税と、固定資産税が増額しているが、その理由は。

**答** 法人町民税は、均等割で9社程度が増える見込みで算出しました。固定資産税は、令和3年度に適用された、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う課税標準の特例がなくなり、増加になりました。

## 水防団員手当

**問** 水防団員の警戒出動手当1千円増額の算出根拠は。

**答** 消防庁が示した消防団員の出動手当を参考に、現行3千円を4千円にするものです。

# 文教厚生常任委員会

## 川島町保育園経営改革審議会

**問** 子ども・子育て会議から審議会への提言は。

**答** 個別対応が必要な児童の保育の継続や保育の質の向上について議論を進め、子どもの成育環境を主体においた、魅力的な保育園となるように、審議会で検討してほしいとのこと。

## 高校生まで入院医療費無料

**問** 働いている人や結婚している人も医療費は無料になるのか。

**答** 仕事あるいは結婚で、親の養育を受けず、生計を別に行っている場合は、医療費支給対象外になります。

## 出丸公民館解体工事

**問** 出丸公民館解体工事をどのように進めるのか。

**答** 現在、公民館から物品等の搬出を行っており、今後、消防法等の関係法令との調整を図りながら、条例改正も含め進めていきます。

## 小中学校の新型コロナウイルス感染症の影響

### 委員長コメント

町では新型コロナウイルス感染症の累計感染者は700人超となり、感染の拡大により学級閉鎖を行った小中学校もあります。通常の学校行事が行えず、変更や縮小して行ったり、多大な影響が続いています。一日でも早く通常の学校生活に戻れることを願っています。



中山小学校の修学旅行の様子

## 認知症検診

**問** 認知症検診とは。

**答** 対象者は、70歳と75歳の方全員です。検査方法は「浦上式もの忘れスクリーニング検査」を行い、認知機能の低下があると認められた方は専門の医療機関への受診勧奨を行います。

## 新型コロナウイルスの影響

**問** 小中学校就学援助の予算増額は新型コロナウイルス感染症の影響か。

**答** 新型コロナウイルス感染症が長引くと就学援助の申請は増える傾向にあり、2月時点で、小学校が122人、中学校が55人です。

## 新ごみ処理施設

**問** 新ごみ処理施設の建設候補地の決定後は。

**答** 建設候補地検討委員会の会議内容を広報等で周知を図り、その後、皆様のご意見を伺いながら、建設地を決定していきます。

## 各議員の賛否

※「○」は賛成、「×」は反対を表しています。また、「―」は議長もしくは退席のため表決しておりません。

上程された議案	結 果	議 員 氏 名													
		加藤進	渋谷幸司	矢内秀憲	粕谷克己	柴田一典	稲村美代子	新井悦子	爲水順二	森田敏男	菊地敏昭	石川征郎	道祖土証	小高春雄	小峯松治
<b>専決処分の承認</b>															
専決処分の承認（令和3年度川島町一般会計補正予算（第8号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
<b>新規条例の制定</b>															
川島町保育園経営改革審議会条例の制定	可決	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	―
<b>条例の一部改正</b>															
川島町廃校施設の開放及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
川島町水防団条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
川島町職員の育児休業等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
川島町国民健康保険税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
川島町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
川島町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
川島町子育て支援医療費支給に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
<b>規約の変更</b>															
埼玉県市町村総合事務組合規約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
<b>令和3年度 補正予算</b>															
令和3年度川島町一般会計補正予算（第9号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
令和3年度川島町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
令和3年度川島町介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
<b>令和4年度 当初予算</b>															
令和4年度川島町一般会計予算	可決	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	―
令和4年度川島町国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
令和4年度川島町介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
令和4年度川島町後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	―
令和4年度川島町水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
令和4年度川島町下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
<b>議員提出議案</b>															
ロシアによるウクライナへの侵攻に対する抗議決議について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―

（※議員名は、議席順となっております。）



# 町の考えを問う

町政一般質問要旨 3月10日、11日に一般質問が行われました。

※一般質問の内容は各質問議員によって編集されています。  
※質問項目の区分により太字にしています。

<p><b>菊地 敏昭 議員</b></p> <p>1 町の自然災害に対する備えについて</p> <p>2 水防団員（消防団員）について</p> <p>3 町職員の非常時（水害時）対応について</p>	<p><b>粕谷 克己 議員</b></p> <p>1 治水対策事業について</p> <p>2 新型コロナウイルス対策事業について</p> <p>3 コロナ禍での教育相談体制の整備・充実について</p>	<p><b>新井 悦子 議員</b></p> <p>1 デジタル田園都市構想に関する取り組みについて</p> <p>2 教科担任制について</p> <p>3 学童施設へのWIFI設置について</p>	<p><b>柴田 一典 議員</b></p> <p>1 自治会の継続性について</p>	<p><b>矢内 秀憲 議員</b></p> <p>1 医療対応、及び災害対策について</p> <p>2 中学生の未来を見据えた「部活動改革」について</p>	<p><b>稲村 美代子 議員</b></p> <p>1 子育て応援プランについて</p> <p>2 平成の森公園のリニューアルについて</p>	<p><b>渋谷 幸司 議員</b></p> <p>1 水害時の避難行動について</p> <p>2 再生可能エネルギーと営農型発電の普及について</p>
--	---	---	---	---	--	--

**問**

収容可能人数を超える避難者が来ても、緊急避難場所は安全に運用できるのか。

**答**

町外へ広域避難をしていただきたい。

（水害時の避難行動について）

**問** 昨年に取り組んだ、「水害時の避難に関する実態調査」では、町内の緊急避難場所と自宅にとどまるとした方が全体の46%の8,954人になります。大勢の方が緊急避難場所に避難して来ても、緊急避難場所は安全に運営できるのか。また、高齢等のため移動が困難な方のために、広域避難バスの活用や、避難情報をより確実に届けるために、防災アプリを導入する考えは。

**答** 町内の緊急避難場所は収容人数に限りがあります。自宅にとどまる方も孤立状態になると命の危険がありますので、町外へ広域避難をしていただくように説明会等で周知していきます。広域避難バスの運用は引き続き検討します。防災アプリは導入費用等のことで見合わせています。

**問** 世界各地で気候危機ともいえる異常気象が起きています。温



渋谷 幸司



バスによる広域避難訓練

室効果ガスの排出を削減するための町の取組みは。また、営農型太陽光発電など再生可能エネルギーの普及に取り組み考えは。

**答** 川島町地球温暖化対策実行計画事務・事業編を作成して、公共施設における環境負荷の軽減に取り組んでいます。営農型太陽光発電も含め、再生可能エネルギーの普及は持続可能な社会の実現に向けての課題なので、取り組む必要があると考えています。

**問** 産後うつが増えているとの報道があるが。

**答** 産後うつ病質問票を取り入れ、支援しています。

(子育て応援プランについて)

**問** 乳児家庭全戸訪問事業で、育児や産後の生活についての相談はどれくらいあるのか。

**答** 平成31年4月から令和4年1月までの出生児は2000人で、ほぼすべての家庭から相談を受けております。

**問** 母子の1か月健診費用助成事業の利用実績は。

**答** 助成金額5千円を限度に2020年より実施しており、これまでの利用者数は110組で、割合は100%です。

**問** 妊婦の検診時のタクシー無料化について、町の考えは。

**答** 総合的に判断した中で、かわみんタクシーに愛和病院を加えることになりました。

**問** 産後うつが増えているという報道があるが、町の対策は。

**答** 乳児家庭全戸訪問事業において、エジンバラ産後うつ病質問票を取り入れて、必要な支援を行っております。

**問** 子育てしてよかったと思える町にしてほしいと思うが。



稲村 美代子  
いなむら みよこ

**答** 様々な事業を周知、改善して、安心して生み育てられる町にしていきます。

**問** 平成の森公園のリニューアルについての計画は。

**答** 町の活性化や交流人口の拡大を図る施策として、令和元年度より検討を進めてきました。令和4年度は、国の地方創生推進交付金を活用し、具体的な検討を進めていきます。



安心して子育てできる町づくりを目指して

**問** ドクターヘリ離着陸場の追加登録が必要では。

**答** 今年3月末には追加登録される見込みとなりました。

**問** 町の救急医療対応ですが、令和2年3月(二年前)議会定例会において、私の一般質問で、ドクターヘリ離着陸場として、未登録である旧出丸小・中山小・伊草小、それぞれのグラウンドを追加登録してはどうか、に対する答弁が、「追加登録に向けて、消防局と調整します」とのことでしたが、二年を経過した現在、どのような見込みになっているのか。

**答** 昨年9月ごろ、ドクターヘリ運航事業者に現地を確認していただき、「離着陸が可能」との判断から、昨年12月に各学校との調整や代表区長会議で説明し、関係者のご理解もいただきました。今年に入り、埼玉県に追加申請をいたしました。結果、今年3月末には追加指定される見込みになりました。これにより、ドクターヘリの離着陸場は、町内11か所となりました。

**問** 災害時などに「助けてください」と、事前に申し込む方式による「防災カード」があります。これは、本人の同意を得て支援する



矢内 秀憲  
やない ひでのり

ものですが、なかには理由があつて申し込みできない方、迷っている方、地域で孤立している方等は、防災カードがありません。誰ひとり取り残さないためには、法的に認められている「推定同意」を活用するための、「防災カード」に関する条例」等が必要と思うが、支援が必要な方が、登録されていない場合があるため、条例の制定に向け検討します。



出動に備えるドクターヘリ (埼玉医科大学にて)

協力：朝日航洋株式会社

**問** 自治会長の負担軽減の策は。

**答** 具体的な解決策に向けたアンケートを行い、解決に努めます。



**問** 以前の定例議会でも、自治会が抱える課題について、いくつか質問をさせていただきました。その後、集会所や自警団倉庫などの解体については、補助対象としていただけることになり、有難く受け止めています。

その時も、地域の役職を受けにくい社会環境として、自営業の方が減り、サラリーマンが増え、年金受給が65歳に引き上げられ、高齢になってもフルに働き続ける方が増え、時間的な余裕のある方が少なくなっていることを上げさせていただきます。

その後、地域の方から、次のような現状を伺いました。

①一度、町外に出た子ども夫婦が、親の高齢により、家に入ることも考えたが、今の仕事を続けながら、地域の役職を受けなければいけない不安から、転入を避けたケースがあった。

②順番でいくと2〜3年後に地域の役職に当たるので、自分の置かれた環境を考えると不安になり、自治会を抜けていったケースが

あった。

以上のことから、今後は、お勤めしながらでも、自治会長などの受けやすい環境づくりが必要と考えます。

自治会長の負担を和らげる一つの方法に、広報紙などの配送委託がありますが、町の考えは、**答** 自治会長会議などで、配送委託や、先進事例を含めたアンケート調査を行い、自治会で抱えている課題の解決に努めてまいります。



地域が支えるクリーン活動

**問** デジタル田園都市構想での不登校児童生徒への配慮は。

**答** 不登校児童生徒へのリモート授業を実施。



**問** 少子高齢化や人口減少の進展で人手不足や後継者不足で地域社会の構築は、喫緊の課題です。働き方改革や教育、医療、福祉で日常生活の現場の変容が求められます。誰一人取り残さないデジタル社会の実現の中、不登校児童生徒のリモート授業を可能にするための家庭に配慮した取り組みは。

**答** ギガスクール構想により各家庭のWiFi環境整備をし、オンラインで繋ぐ取り組みを行っています。不登校の学習保障の点でもリモート授業は必要です。

**問** オンライン診療をかりつけ医に繋ぐ取り組みは。

**答** 新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、オンライン診療が初診の方もできるようになりました。利用層は40歳以下が多く年齢が高くなるほど対面診療となっています。オンライン診療の前提となるかかりつけ医は、身近にいて頼りになる医師になります。かかりつけ医を持つことは安心して医療機関にかかれ

ます。健康な方は、かかりつけ医を持つことがない状況ですが、かかりつけ医の存在と役割をホームページや広報で周知します。

**問** 教科担任制の取り組みは。  
**答** 授業交換で理科と社会、体育と算数など教材研究が深まり、授業改善と質の向上に繋がっています。

**問** 学童室にWiFi設置は。  
**答** 学童クラブ4か所のうち、1か所は未設定です。設置されているも一度に全ての児童が利用できる環境はないため、タブレット使用は許可していません。



デジタル田園都市国家構想の取組イメージ (デジタルからのアプローチ)

**問** コロナ対策として飲食店等に追加支援ができないか。

**答** 商工事業者等の意見を丁寧に向い支援につなげてまいります。

**問** コロナ禍で厳しい経営環境が続く商工事業者等へ、追加支援策が考えられないか。

**答** 商工会からはB級グルメを活用した町内回遊事業への支援要望もあり、今後支援できるよう対応してまいります。

**問** 治水対策として入間川流域の樋管（浅間・高木・横塚）は、どのように改修されるのか。

**答** 平成15年からの入間川・越辺川等緊急対策事業の築堤事業における未改修箇所、浅間・高木樋管は撤去、横塚樋管は改修の計画があり、現在調査検討が進められています。

**問** 浅間・高木樋管が撤去されると流域の排水に支障がないか。

**答** 国が整備を進める堤脚水路と町が整備している浅間排水路で流域の排水を川島排水機場に取り込みます。

**問** 内水氾濫が心配される安藤川蕪橋下流部で、管理道路をかさ上げする等の越水対策ができないか。

**答** 内水氾濫が予想される危険箇所については、引き続き安藤



粕谷 克己  
かす や かつ み

川・横塚川改修促進協議会等を通じ、要望活動を行ってまいります。

**問** コロナ禍で不登校児童生徒数が急増しているが、教育相談体制の整備充実ができないか。

**答** 県の補助事業では、十分な相談員の配置が難しいため、町の支援策としてスクールソーシャルワーカー（SSW）等の相談体制を充実し相談回数も増やしてまいります。



安藤川と飯島排水が合流する  
稲荷橋付近

**問** 町の自然災害に対する備えは。

**答** 社会経済被害の最小化を目指し治水対策を進める。

**問** 河道の能力向上の工事は。

**答** 入間川流域緊急治水対策プロジェクトにおける河道掘削・樹木伐採に伴う用地取得の事務の一部を国から受託し、約7.8haの約98%の事務が完了です。

**問** 内水氾濫対策は。

**答** 災害が予想される場合にはファームポンドの水位調整等の協力に土地改良区と覚書を締結しました。安藤川と飯島雨水幹線水路の流下能力は、川島排水機場との整合が図れています。農業用排水路の機能回復・維持管理では、主要な用排水路は生活排水や防火用水としての役割も担っており、社会共通資本であり、町としても適切な維持管理が必要で土地改良区と連携してまいります。空振りを恐れず、できる限り内水の排除を土地改良区と町で連携して実施します。

**問** 水防団員の人数確保は。

**答** 町では、水防団員が水防団員を兼ねており、水害対策時には水防活動を積極果敢に実施さ



菊地 敏昭  
きく ち とし あき

れています。水防団員充足率は89%で町職員の水防団員人数は17名です。消防・水防団員が定数に満たない状況が続いていますので、機能別消防団の設置を消防署と協議し研究します。

**問** 町職員の非常時対応は。

**答** 地域防災計画に基づき動員配備を行い、水害時は台風接近前から水防体制を整備しています。会計年度任用職員も災害時には参集を想定しています。

**問** 公用車の水害時対応は。

**答** 約25台を高台に移動します。



内水被害の低減に活躍中

# 川島町議会特別委員会中間報告

地方創生・行財政特別委員会

委員会活動の経過（令和3年度）

## ●第1回特別委員会

・今後の進め方、川島町地域商社、地域商社の先進地視察について

### ◎視察研修

・茨城県桜川市 地域商社クラセル桜川

## ●第2回特別委員会

・地域商社の設立について

## 今年度の調査事項

第1回特別委員会において、今年度は、まず、地域商社設立について、現状と課題を調査・研究することになりました。次に、行財政運営に関する調査検討事項における川島町公共施設個別施設計画の中で、特に5年以内に優先的に検討実施すべき取組みとして、保育園の民営化について調査・研究することになりました。

また、魅力ある地域作りに関する調査・研究事項においては、上記の2つの調査研究を通して魅力あるまちづくりに資する施策の研究を行うことになりました。

調査・研究の結果

## ・地域商社について

川島町は、観光資源の乏しい町ですが、眠っている資源を掘り起こし創出するといった取組は欠かせないことで、地域商社の役割の一つでもあると考えられます。

川島町の地域商社さまちかは、令和4年1月11日に設立しましたが、今後は、地域商社設立に当たっての「地域資源の発掘」「地域産品の高付加価値化」「地域産品の販路開拓」という3つの役割をしっかりと軸に据え、関係する商工業団体や販売活路を求める農業生産者とも連携し、地域振興という大きな目標のため事業に臨んでほしいと考えています。

## ・保育園の民営化について

個別施設計画の中では、保育園の民営化が示されていますが、現在、子育て支援課を中心に、将来の人口規模を踏まえた中で、5年・10年先を見据え、施設のあり方、運営の仕方を検討しております。今後は、特別委員会としても、町とともに慎重に調査を進めていきたいと考えます。

ごみ処理施設建設に関する特別委員会

委員会活動の経過（令和3年度）

## ●第1回特別委員会

・今後の進め方、埼玉中部資源循環組合解散の経緯、川島町一般廃棄物処理施設建設候補地検討委員会設置要綱及び建設候補地検討スケジュールについて

## ●第2回特別委員会

・先進地視察、第1回川島町一般廃棄物処理施設建設候補地検討委員会の報告について

### ◎視察研修

・東京都日野市 浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設

## ●第3回特別委員会

・第3回川島町一般廃棄物処理施設建設候補地検討委員会の報告について

調査・研究の結果

## ・建設候補地について

老朽化が進んでいる本町のごみ焼却施設は、早急に更新を検討すべき段階にきています。町では、川島町一般廃棄物処理施設建設候補地検討委員会（以下「検討委員会」という。）を設置し、建設候補地の絞り込みをしています。町では、これに先立ち、庁内の職員で構成し

た「川島町一般廃棄物処理施設整備に関する建設用地庁内検討委員会」において、町内全域から候補地案を9か所とする報告書が出されました。

特別委員会では、第2回の会議において新たに1か所を追加することとし、その後、検討委員会です承され、全部で10か所を評価することになりました。

第3回の会議では、検討委員会の会議の報告を行い、建設候補地の評価・絞り込みに対する特別委員会の意見として、(1)浸水・水害対策に十分配慮すること。(2)安定したごみ処理事業が継続できること。以上2点を取りまとめました。今後も、町執行部から積極的な情報提供を受けるとともに、議会としてのチェック機能の役割を適切に果たし、着実な事業の進展を期待するものです。

## ・広域処理について

今後も、さまざまな処理方式、将来に向けたごみ処理の姿を検討し、広域処理としての利点を明らかにしていただきたいと思います。また、特別委員会としても、町とともに慎重に調査を進めていきたいと考えます。

## 議会日誌

### 1月

- 7日 議会報編集委員会
- 8日 消防出初式
- 9日 成人式

### 2月

- 14日 議会全員協議会
- 18日 ごみ処理施設建設に関する特別委員会
- 24日 議会運営委員会  
議会全員協議会

### 3月

- 2日~16日 3月定例会
- 2日 ごみ処理施設建設に関する特別委員会
- 4日 議会報編集委員会
- 10日 議会運営委員会
- 11日 ごみ処理施設建設に関する特別委員会
- 16日 議会運営委員会  
議会全員協議会
- 24日 議会報編集委員会  
ペーパーレスシステム  
タブレット操作研修
- 25日 町都市計画審議会

## 6月の定例会予定

議案審議

一般質問

6/8(水) (予定)

6/13(月)~15(水) (予定)

6月定例会は6/8~6/15の予定です。

## 比企広域市町村圏組合議会

小峯 松治・菊地 敏昭

令和4年第1回比企広域市町村圏組合議会定例会は、2月8日に東松山市議会議場で開会されました。提案された議案は、消防関係を除き、全10議案です。

**議案第1号** 専決処分については、人事院規則の一部改正に伴い、緊急に組合職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例を改正する必要があるため、専決処分したものです。

**議案第3号** 埼玉県市町村総合事務組合の規約変更については、埼玉県都市競艇組合の名称変更に伴い、規約を変更するものです。

**議案第4号** 令和3年度比企広域市町村圏組合一般会計補正予算(第2号)は、職員給与と事業の歳出減額分を予備費に充当するものです。

**議案第6号** 令和3年度比企広域市町村圏組合斎場及び霊きゆう自動車事業特別会計補正予算(第2号)は、

歳入歳出それぞれ150万円を追加し、歳入歳出それぞれ4億472万円とするものです。

**議案第7号** 令和3年度比企広域市町村圏組合介護認定及び障害支援区分審査会特別会計補正予算(第2号)は、職員給与と事業、介護認定審査会事業及び障害支援区分審査会事業の歳出減額分を予備費に充当するものです。

**議案第8号** 令和3年度比企広域公平委員会特別会計補正予算(第2号)は、委員会運営事業の歳出減額分を予備費に充当するものです。

議案第9号から議案第13号までは、令和4年度比企広域市町村圏組合一般会計予算と4つの特別会計予算についてでした。採決の結果、全議案とも全員賛成をもって原案可決されました。(菊地)

## 表紙解説

この春は、川島中学校から64名、西中学校から80名の生徒が高校生や社会人等として羽ばたきました。令和4年4月1日から、成年年齢が18歳に「引き下げ」られました。4月以降は、18歳から成人として扱われる、ということですので。これによって、令和4年4月1日に18歳19歳の方はこの日から「新成人」となりました。

約140年ぶりに変更されたため、社会にとって大きな変化が予想されます。ただし、飲酒や喫煙、公営競技に関する年令制限は「20歳」のままです。どうか、この桜の木のように、これからも新成人を応援しましょう。

(写真・文章/矢内)

## 編集後記

令和4年度予算も75億1,300万円と、昨年度より8.3%増で可決しました。今、社会情勢は、本年2月24日よりロシア軍のウクライナ侵攻という武力行使が始まっています。その影響を受け原油高、物資の高騰が起こり出しています。議会としまして社会平和のため、国際法の順守を強く求めて「ロシアによるウクライナへの侵攻に対する抗議決議」を提案し、全会一致で可決しました。一刻も早く終戦することを願っています。また、犠牲になりました方々へお悔みと、お見舞いを申し上げます。暗いニュースが多い中、新年度が始まりました。町民一丸となりアフターコロナを見据えて乗り越えていきましょう。(加藤)

## 議会報編集委員会

委員長	新井悦子
副委員長	渋谷幸典
委員	渋谷幸典
柴田一典	
粕谷克己	
矢内秀憲	
加藤進	
小峯松治	
相談役	